

# これだけは覚えておきたい！ 基本のエクセル関数

エクセルを仕事や学校で使うなら、覚えておきたい関数をアオテンスタッフがピックアップ！  
マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS 試験)の出題範囲にも含まれる基本の関数です。

## ■ 数値の合計 …………… SUM 関数・SUMIF 関数

SUM 関数	=SUM(数値 1,数値 2,...)	指定した範囲の数値を合計する
SUMIF 関数	=SUMIF(範囲,条件,合計範囲)	指定した条件と一致する数値を合計する

※[数値]はカンマ(,)で区切って指定しますが、セル範囲で指定することも可能です。

### 【使用例】

指定した範囲の合計額を求める =SUM(B3:F3)

セル B3 と E3 の合計額を求める =SUM(B3,E3)

「交通費」の合計額を求める =SUMIF(B2:F2,“交通費”,B3:F3)

	A	B	C	D	E	F
1	日付	4/6	4/6	4/10	4/10	4/16
2	種別	教材費	交通費	通信費	雑費	交通費
3	金額	¥2,100	¥190	¥400	¥800	¥160

## ■ 平均値・最大値・最小値 …… AVERAGE 関数・MAX 関数・MIN 関数

AVERAGE 関数	=AVERAGE(数値 1,数値 2,...)	指定した範囲からデータの平均値を求める
MAX 関数	=MAX(数値 1,数値 2,...)	指定した範囲からデータの最大値を求める
MIN 関数	=MIN(数値 1,数値 2,...)	指定した範囲からデータの最小値を求める

※[数値]はカンマ(,)で区切って指定しますが、セル範囲で指定することも可能です。

※指定した範囲に空白セルや文字列が含まれていても計算対象になりません。「0」は結果に含まれます。

### 【使用例】

平均点を求める =AVERAGE(B2:H2)

最高点を求める =MAX(B2:H2)

最低点を求める =MIN(B2:H2)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	名前	武田	福島	小西	柴田	今川	前田	佐竹
2	点数	80	52	91	71	54	90	83

## ■ セルの個数を数える …………… COUNT 関数・COUNTA 関数・COUNTIF 関数

COUNT 関数	=COUNT(値 1,値 2,...)	数値が入力されているセルの個数を数える
COUNTA 関数	=COUNTA(値 1,値 2,...)	データが入力されているセルの個数を数える
COUNTIF 関数	=COUNTIF(範囲,検索条件)	指定した条件と一致するセルの個数を数える

※[値]はカンマ(,)で区切って指定しますが、セル範囲で指定することも可能です。

### 【使用例】

在庫がある商品を数える =COUNT(B2:H2)

配送が「○」の商品を数える =COUNTA(B3:H3)

在庫 3 以上の商品を数える =COUNTIF(\$B\$2:\$H\$2,“>=3”)

※行・列の前に[\$]がつくと「絶対参照」になります。参照するセル範囲を固定したい場合に使用します。

※COUNTIF 関数で比較演算子(=,<,>)を使用する場合は必ず「”(ダブルクォーテーション)」で囲みます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	商品	イヤホン	炊飯器	パソコン	プリンター	スリッパ	お風呂	
2	在庫	2		3	5	4	1	7
3	配送		○	○		○		

裏面に  
続きます

作成：株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ  
弊社の承諾を得ずに、無断で使用(複製・転載)することを禁止します。お問い合わせは [info@aoten.jp](mailto:info@aoten.jp) まで  
\*アオテンの最新情報はメールマガジンで！⇒ <http://www.aoten.jp/mailmag/>

## ■ 日付・時刻を表示…………… TODAY 関数・NOW 関数

TODAY 関数	=TODAY()	セルに本日の日付を表示する
NOW 関数	=NOW()	セルに現在の日付と時刻を表示する

※関数が入力されているセルを選択し[F9]キーを押すと最新の情報に更新されます。

## ■ 条件分岐…………… IF 関数・AND 関数・OR 関数

IF 関数	=IF(論理式,真の場合,偽の場合)	[論理式]に指定した条件に応じて処理を分ける
AND 関数	=AND(論理式 1,論理式 2,...)	全ての条件を満たすかどうかを判断
OR 関数	=OR(論理式 1,論理式 2,...)	いずれかの条件を満たすかどうかを判断

### 【使用例】

70 点以上なら○、それ以外は×を表示する

=IF(B2>=70,"○","×")

30 点以上かつ 70 点以下の場合は「TRUE」を表示

=AND(B2>=30,B2<=70)

70 点以上もしくは 30 点以下の場合は「TRUE」を表示

=OR(B2>=70,B2<=30)

	A	B
1	名前	点数
2	松永	80
3	織田	40
4	北条	25
5	浅井	78

## ■ 検索してデータを取り出す… VLOOKUP 関数

VLOOKUP 関数	=VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,[検索の型])	[範囲]の 1 列目で[検索値]と一致する値を検索して、指定した列と同じ行にある値を表示する
------------	-----------------------------	--

### 【使用例】

「商品 No」から検索して「商品名」を表示させる

=VLOOKUP(D2,A2:B4,2,FALSE)

商品 No をもとに参照表を検索して、  
2 列目の商品名を取り出して表示する。

		=VLOOKUP(D2,A2:B4,2,FALSE)			
	A	B	C	D	E
1	商品No	商品名		商品No	商品名
2	1	エクセル問題集		2	ワード問題集
3	2	ワード問題集			
4	3	パワーポイント問題集			

=VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索の型)

- ①検索値 検索するためのキーになる数値
- ②範囲 検索に使う参照表
- ③列番号 参照表の左から何列目を表示するか指定
- ④検索の型 検索値と完全一致する値の検索には「FALSE」を指定  
「TRUE」だと検索値より小さく最も近い値(近似値)を検索

# エクセル関数を覚えて MOS 試験に挑戦しよう！



今回ご紹介した基本関数は、マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS 試験)の出題範囲に含まれています。関数を覚えて試験に挑戦してみましょう！

▼ MOS 公式サイト ▼

<http://mos.odyssey-com.co.jp/>



作成：株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ  
 弊社の承諾を得ずに、無断で使用(複製・転載)することを禁止します。お問い合わせは [info@aoten.jp](mailto:info@aoten.jp) まで  
 \*アオテンの最新情報はメールマガジンで！⇒ <http://www.aoten.jp/mailmag/>